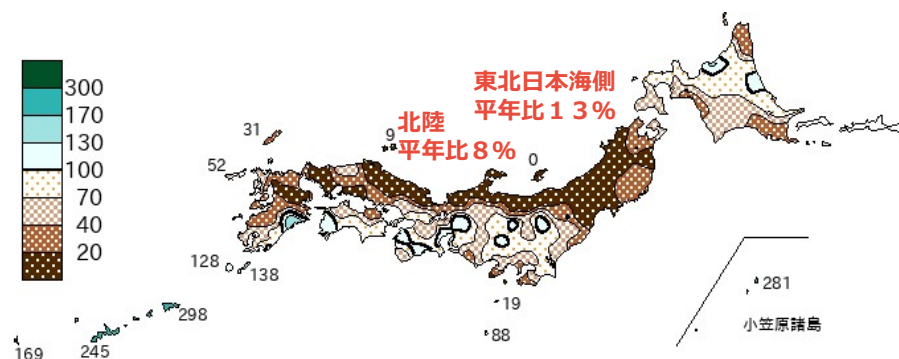


- 令和7年7月の降水量は、東・西日本では記録的に早い梅雨明けとなり、東北日本海側と北陸地方の7月の降水量は、平年と比べてそれぞれ13%、8%で、統計を開始した1946年以降の最も少ない記録となった。（図－1）
- 令和8年1月の降水量は、西日本日本海側と西日本太平洋側では、月降水量平年比がそれぞれ41%、9%となり、1946年の統計開始以降の最も少ない記録となった。（図－2）
特に東海、近畿太平洋側、四国、九州南部の12月末からの4週間の地域平均降水量は、過去の同期間と比べて30年に一度程度の顕著な少雨となった。（図－3）

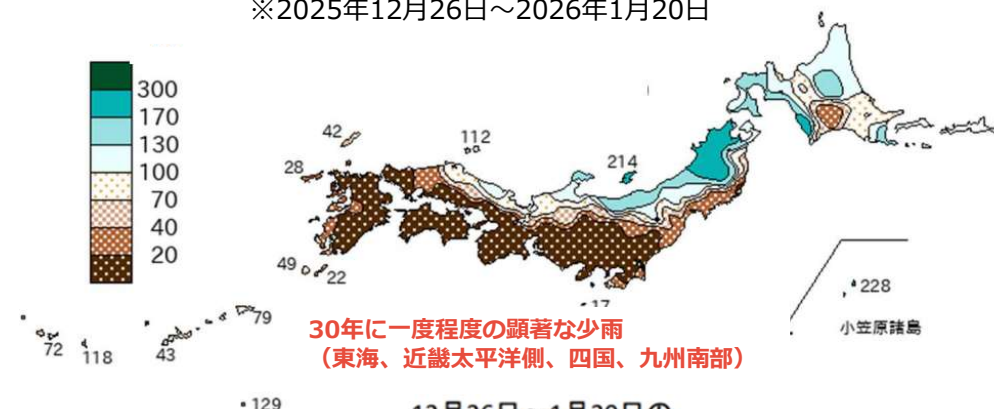
夏

図－1 2025年7月の降水量平年比（%）の分布



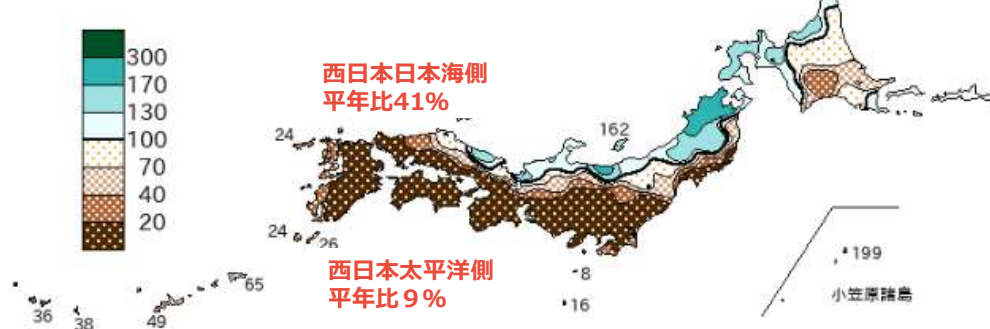
冬

図－3 特に少雨となっている期間※の降水量平年比（%）の分布
※2025年12月26日～2026年1月20日



冬

図－2 2026年1月の降水量平年比（%）の分布



12月26日～1月20日の
主な地点の降水量

地点	降水量（ミリ）	平年比（%）
前橋	0	0
甲府	0	0
名古屋	0	0
大阪	1.5	4
高知	0	0
福岡	11	19
宮崎	0	0

※出典：気象庁

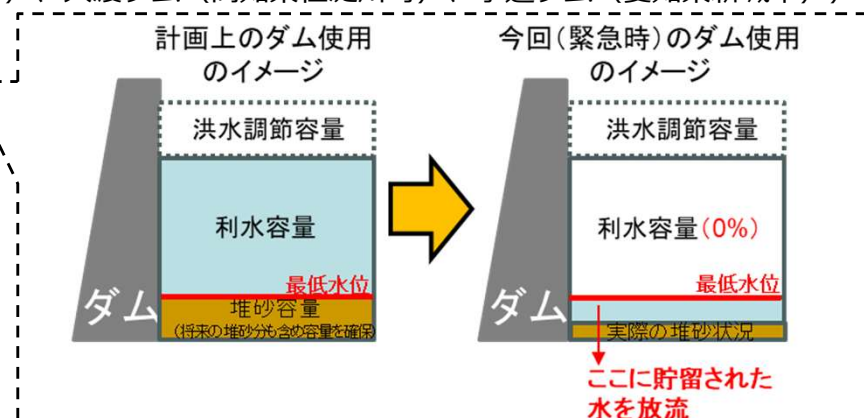
- 令和7年夏渇水※では、特に用水を必要とする出穂期と重なったため、農林水産省と連携した対応を実施
 - ・水利使用者間の調整、ダムの最低水位以下の貯留水（底水）活用（鳴子ダム、御所ダム）
 - ・TEC-FORCE等による災害対策用機械等（排水ポンプ車、散水車等）を活用したかんがい用水の給水 等
- 令和7年冬渇水※においても、関係利水者等と連携した対応を実施
 - ・ダムの最低水位以下の貯留水（底水）活用（大渡ダム、宇連ダム）
 - ・小石原川ダムの渇水対策容量の活用（ダム運用開始後初）（筑後川水系）
 - ・他水系からの水の融通（豊川水系） 等

※ここでの令和7年夏渇水と令和7年冬渇水の以下の期間での渇水状況
 令和7年夏渇水：国土交通省に「国土交通省渇水対策本部」を設置した令和7年7月30日～令和7年10月5日
 令和7年冬渇水：水管理・国土保全局に「渇水情報連絡室」を設置した令和7年12月11日～令和8年7月13日

- ・ダムの底水活用（鳴子ダム（宮城県大崎市）、御所ダム（岩手県盛岡市）、大渡ダム（高知県仁淀川町）、宇連ダム（愛知県新城市））



鳴子ダム底水放流状況（7/29撮影） 大渡ダム底水放流状況（2/2撮影）



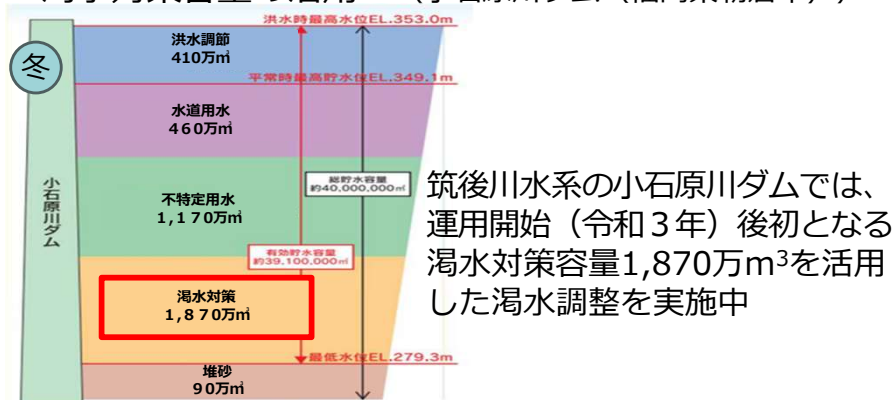
- ・TEC-FORCE等による排水ポンプ車等を活用した給水（新潟県村上市）



河川水のくみ上げ状況（排水ポンプ車）

農業用水路への給水状況

- ・渇水対策容量の活用（小石原川ダム（福岡県朝倉市））



- 国土交通省では、**全国の渇水状況**をとりまとめ、国土交通省HP「**渇水情報総合ポータル**」において**情報発信**を実施。

国土交通省HP「渇水総合情報ポータル」

渇水関連リンク

- 水道用水の渇水情報（下水道HP）
- 農業用水の渇水情報（農水省HP）
- 気象情報（気象庁HP）
- 全国のダム貯水状況リンク集
- 渇水とは
- 渇水情報
- 過去の渇水情報
- 渇水対応タイムライン
- 国土交通省渇水対策本部
- 渇水対策関係者会議

渇水情報総合ポータル

渇水状況について

■ **全国の渇水状況**

状況はこちら（画像をクリック）
国境の貯水率は管内のダムを平均したものと見做されます。

渇水の状況について（6月29日現在）

○6月29日現在、4水系で渇水調整協議会等の開催、取水制限等の渇水対応をとっています。
（関東地区：4/28～5/11の間に12/11～では渇水対策本部を設置、本県12/11～では渇水情報連絡調整会を設置。）

○降雨により貯水率等の改善がみられている水系がありますが、引き続き渇水傾向が続いており、水系の状況を注視しています。

水系	水系名称	貯水率（6月29日現在）	渇水傾向	渇水対応状況
1	利根川水系	12%	渇水傾向	渇水対策本部を設置、渇水調整協議会を開催、取水制限を実施中。
2	荒川水系	10%	渇水傾向	渇水対策本部を設置、渇水調整協議会を開催、取水制限を実施中。
3	Tone River 水系	10%	渇水傾向	渇水対策本部を設置、渇水調整協議会を開催、取水制限を実施中。
4	Arakawa River 水系	10%	渇水傾向	渇水対策本部を設置、渇水調整協議会を開催、取水制限を実施中。

※ 7月1日現在、7月1日の最新の渇水状況（渇水傾向）は、本県を管轄する4水系です。

国境の貯水率は管内のダムを平均したものと見做されます。

全国の渇水状況

渇水関連情報
 （過去の渇水、気象、ダム貯水率、渇水対応タイムラインなど）

各地方整備局の渇水状況など
 （協議会、体制など）

■ 令和7年12月11日に**渇水情報連絡室**を設置し、本HPで渇水情報を発信しております。
水道用水の情報はこちら、農業用水の情報はこちらでも掲載

節水チラシ

水は限りある資源です 節水にご協力を

少雨により、ダムの貯水率等が低下するなど渇水傾向にある地域があります。渇水傾向にある地域にお住まいの方は節水へのご協力をお願いします。

家庭でできる節水の取り組み

トイレの使い方
 大のしぼり洗い分けをししっかり行いましょう。大のしぼり洗い、小のしぼり洗いを併用するため、適切なしぼり洗いの使用で約2リットルの節水になります。（メーカーによる違いあり）

お風呂は「湯はり」で
 シャワーを1分間使用すると約10リットルの水を使います。シャワーより湯はりの方が安易な節水は少ない場合があります。残り湯を洗濯等に使用し、節水になります。

洗濯は「バケツ」を使って
 ホースからの洗い流しでは約90リットルの水を使います。バケツを8回ほど約30リットルの水ですみ、約60リットルの節水になります。

食器洗いは「ため洗い」で
 食器洗いを「ため洗い」ですると約80リットルの節水になります。食器洗いのひたしものはあらかじめ乾かして拭き取りましょう。

歯磨きは「コップ」を使って
 水を流しながら歯磨きをする約6リットルの水を使います。コップで約0.6リットルの水ですみ、約5リットルの節水になります。

その他
 節水アダプターや節水型シャワーヘッドを使うと水の量を減らすことができます。また、井戸水、雨水、湧き水等を利用すると節水になります。

熱中症予防や感染症対策にもご注意ください。

■ **各地の渇水状況**

現在、**関東地方整備局**、**九州地方整備局**が渇水対策本部を設置しています。

【**関東地方整備局**】 本部設置状況（4月28日設置）
・ 久慈川水系久慈川

【**中部地方整備局**】 本部設置状況（1月15日設置、4月28日設置）
・ 中部地方整備局の渇水情報